

行動科学の知見に基づく省エネアドバイス等を記載したレポートの送付状況

行動科学の知見に基づく省エネアドバイス等を記載したレポートを一般世帯に送付して、その後の電気やガスの使用量にどのような効果が表れるかを検証した。平成29年度では、比較対象を含め全国50万強の一般世帯に協力いただき、ランダム化比較試験により統計学的に効果を測定した。主に日本オラクルのコンソーシアムとデロイトトーマツコンサルティングのコンソーシアムが実施し、みやまスマートエネルギーのコンソーシアムにおいても小規模で実施した。

・ レポート送付世帯数（介入群）：約34万世帯

(1) 日本オラクルコンソーシアム実施分

- ・ 地域：5地域（北海道ガス、東北電力、北陸電力、関西電力、沖縄電力管内）
- ・ 対象エネルギー種別：北海道ガスのみガス、その他は電気
- ・ 送付数：地域当たり2種類のレポートを約3万世帯ずつに送付（約6万世帯／地域）
- ・ レポートの種類：2種類（諸外国で用いられる標準型とキャラクターを用いた日本独自型）
- ・ 送付開始時期：平成29年12月

(2) デロイトトーマツコンサルティングコンソーシアム実施分

- ・ 地域：1地域（東京電力管内）
- ・ 対象エネルギー種別：電気
- ・ 送付数：約4万世帯
- ・ レポートの種類：複数種類（郵送頻度、情報量・紙面サイズ、使用量比較、金額表現、賞賛表現、アドバイス等で場合分け）
- ・ 送付開始時期：平成29年12月

・ 比較対象世帯数（対照群）：約17万世帯

(1) 日本オラクルコンソーシアム実施分：約15万世帯（約3万世帯／地域）

(2) デロイトトーマツコンサルティングコンソーシアム実施分：約2万世帯